

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 希望の丘豊橋

公表日 令和 8 年 4 月 1 日

利用児童数

30 (30)

回収数

30

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30				広い敷地に自然豊かで素晴らしい。	屋内、屋外共に広々とした環境を活かし、子どもたちがのびのび遊べるよう活動に応じたスペースの使い方を考えています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		1		1日を通して常に10~12人の職員が指導訓練室で子どもたちと一緒に過ごします。(配置人数・要件は、利用児10名までは2人以上で、現在希望の丘豊橋は2単位あるので4人以上となります) たくさんの方で、子どもたちの成長を応援しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28				2	少なくとも自分の子どもは困ることはなさそうです。他のお子さんについては分かりません。	目から入る刺激を少なくするために、視覚支援は必要最低限にしています。『必要な子に、必要な場面で、必要な量』ということを常に考え、環境を設定しています。全てを前もって整えるのではなく、困ったと感じた時に発信できる力を育てることも大切に支援をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1					こども達が楽しみながら成長していけるよう、毎日さまざまな活動を考え提供しています。ダイナミックな遊びでは空間を広く活用できるように、じっくり集中して取り組む遊びでは落ち着いた空間になるよう机や遊具などの配置などを考えています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	3		1	多くの施設が専門家不在なので、ここが特別というわけではないが、子どもによつては専門の人がいるとよいと思う。	希望の丘豊橋の職員のほとんどが、子どもの発達全般を学んだ保育士です。多職種の視点で子どもの発達を見る大切さは実感しているので、療育訪問事業を活用したり研修で様々な学びを得ることで、保育士以外の専門家不在という現状を補っていききたいと思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			1		令和7年度からHPに支援プログラムを公表していますので、是非ご確認ください。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	28	1			1	お子さんの様子を把握した上で、保護者の方とのモニタリングでニーズや課題を整理し個別支援計画を作成しています。原案作成後には職員の個別支援会議と保護者の方を含めた個別支援会議を行い、より適切な計画へと繋げています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29				1		個別支援計画は個々に応じて作成されているが、活動記録として発信している情報では計画に沿った支援が行われているかは把握しづらいと思います。半年に1回程度行われているモニタリングにて保護者の方と丁寧な振り返りを行っていますので、不安や疑問などあれば是非ご意見をお聞かせください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	2			1		季節や子どもたちの興味・関心などに合わせ、活動プログラムが固定化されないよう様々な活動を計画しています。令和7年度はクラウドサービスにおける『活動記録』の発信を意識して行ってまいりました。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	3	1	2	同法人の希望が丘こども園はもちろん、希望が丘支援センターの利用児さんとの関わりが持てるよう機会を作っています。交流に関しては個人情報の観点からなかなか『活動記録』として発信ができないので、保護者の方に交流の様子が伝わる方法を検討していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29			1	契約時に運営規定や重要事項説明書等で説明をしていますが、支援プログラムについては伝わっていない部分があったかと思います。今後の説明方法について検討していきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	5			1	プログラムや研修会という形の提供は現在できていません。困りごとなどに対する相談や情報提供などは、その都度一緒に考えたり、施設等で行っている支援方法をお伝えしたりしています。また、令和7年度からは『つむぎの会』も開催しておりますので、是非ご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	2				今後も保護者の方とたくさんコミュニケーションを取っていきたくと思っています。また、聞きたいことや困りごとなどあれば、気軽に声を掛けていただけたらと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1				保護者の方からの相談には随時対応させていただきます。モニタリングや個別支援会議、担当者会議などを通し、半年に1回以上はこちらから声を掛けてじっくりと面談や話し合いをする機会を設けていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2				保護者の方が抱えている様々な思いを聞き取り、考え、対応させていただいています。職員それぞれ経験してきたことが違うので、様々な職員の視点を紡ぎ合わせて対応するようもしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25			1	4	昨年度のご意見をもとに、今年度から月に1回を目安に『つむぎの会』を開催しています。職員から何かを伝えるというよりは、ゆったりとした雰囲気の中で日頃抱えている思いを保護者の方たちから聞かせてもらい、気持ちが楽になったりホッとしたりしてもらえることを1番の目的としています。また、年に4回程度ご家族参加型のイベントを開催しています。イベントは保護者同士、きょうだい同士が交流するととてもいい機会となっていますので、日程が合いましたら是非ご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	3				契約時に、相談や申入れに関する対応整備についてお伝えさせていただいています。入口の対応は全職員で行いますが、内容によっては職員を代えて対応させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29				1	今年度は『活動記録』にて子どもたちと楽しんだ活動の様子を定期的に発信してきました。自己評価の結果はホームページに掲載しておりますのでご確認ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28				2	契約時にご署名いただいた『個人情報使用同意書』に基づき、取り扱いには留意しています。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27			3		各種マニュアルを策定し、研修や訓練を行っています。 周知や説明など、保護者の方たちへより伝える方法を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			5		消防署へ計画を提出した避難訓練2回（内1回は総合訓練）だけでなく、ふれあいセンター合同の避難訓練にも複数回参加をすることができました。 活動と同様、避難訓練の発信も『活動記録』にて行っていますので、是非ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			2		安全計画の策定をし、月に1回施設・遊具安全点検を実施しています。今後も安全な環境で支援を行えるよう、事業所内の注意すべき箇所は職員間で共有すると共に、定期的に振り返りを行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			3	経験がないので分からない。	開所してから現在に至るまで、大きな事故等は発生していません。 些細なことでも表情や様子を見て保護者の方に連絡させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1				安心感を持って通所していただけるよう、今後も丁寧に関係性を育んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	2				通所を楽しみにしていただけるよう、今後も尽力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1				希望の丘にできる、精一杯の支援を、お子さんにもご家族にも行っていきたいと思っています。 気になることなどあれば、どのようなことでも気軽に声をかけていただけたらと思います。